I. 総括研究報告	
国内外で開発されOECDで公定化されるNAMを活用した試験法の行政的な受け入れに対応するための研究-----	1
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター／平林 容子	
II. 分担研究報告	
1. バリデーション基準の改定対応および皮膚感作性試験のTG開発 -----	30
国立医薬品食品衛生研究所 ゲノム安全科学部／足利 太可雄	
2. 肝臓並びに腸管オルガノイドを用いた <i>in vitro</i> toxicokinetics評価系の構築 -----	35
東京農業大学 応用生物科学部／美谷島 克宏	
3. 発がん性試験におけるAOP、IATA及びTGの開発、及び実験データ支援 ---	44
国立医薬品食品衛生研究所 病理部／豊田 武士	
4. <i>In vitro</i> 腎毒性評価のTG開発及び実験データ支援-----	50
国立医薬品食品衛生研究所 病理部／松下 幸平	
5. 化学物質曝露によって誘発される発達神経毒性に関する研究-----	55
国立医薬品食品衛生研究所 毒性部／齊藤 洋克	
6. 皮膚感作性 <i>in silico</i> 機械学習モデルのTG 開発-----	59
名古屋市立大学データサイエンス研究科／安部 賀央里	
7. Bhas42細胞形質転換試験法のTG開発-----	66
神奈川県衛生研究所 理化学部／大森 清美	
8. <i>In vitro</i> toxicokineticsのDRP開発-----	68
国立医薬品食品衛生研究所 薬理部／山崎 大樹	
9. OECD ESCAプロジェクト対応-----	74
国立医薬品食品衛生研究所 毒性部／西村 拓也	
10. OECD ESCA プロジェクト対応 -----	77
帝京平成大学 健康医療スポーツ学部／中江 大	
11. 免疫毒性のIATAおよび <i>in vitro</i> toxicokineticsのDRP開発-----	81
山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部医薬工学科／小島 肇	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表-----	88
IV. 倫理審査等報告書の写し-----	93